

【主な記事】

- ◆スルメの物販で職場オルグ 2面
- ◆2026年度政府予算要求第2次中央行動ほか 3面
- ◆連載：流体碩学（水無田気流） 4～5面
- ◆都市交評2026年度青年女性連絡会議ほか 6面
- ◆戦後80年⑤（最終回） スパイ防止法 7面
- ◆2026連合春闘、始動ほか 8面

来年1月より

『月刊自治研』で緊急連載を開始

『クマ被害』から 住民を守る 自治体の苦闘を 支えよう

東北地方を中心に、各地でクマによる被害が相次いでいる。『月刊自治研』編集部はこの問題で11月19日、住民の命を守るため奔走する自治体の取り組みについて、秋田県本部、秋田県職連合と秋田市職労へのヒアリング取材を実施した。

クマ被害は、人口減少・地域の衰退、自治体の人材確保、気候変動問題、人間と野生動物の共存など多くの重い問題を投げかけている

写真提供：イヌーゴです

『月刊自治研』とは

自治研中央推進委員会が発行。地方自治を担う組合員、自治体関係者、市民、研究者の交流・研究のための雑誌。

*申し込みは8面広告から

『月刊自治研』編集部の取材に応じたのは、秋田県本部の佐藤学書記長、秋田県職連合の石田義治書記長、秋田市職労の佐々木大将書記次長の3人。詳細は、『月刊自治研』1月号に掲載されるので、是非ご一読を。

かつてない事態に現場は大忙し

取材日までの秋田市内の目撃情報は3,867件、人身被害10件で、通報電話が鳴りやまない状態です。目撃情報はデータベース化し、職員が警察や猟友会と一緒に現場をパトロールします。箱罟を25基設置し捕獲したのは197頭でした。

11月からは全庁態勢で市民への注意喚起とパトロールをしています。職員が携帯電話を持ち帰り、退庁後も市民からクマ出没の通報を受けています。

県では自然保護課の獣医師を含む10人に、他部署からの応援26人を加えたチームで対応しています。クマの捕獲は麻酔銃や吹き矢を使い、訓練を受けた職員が対応しています。

特殊勤務手当の整備は急務

国は、自治体の判断で特殊勤務手当を支給できるとしており、組合では要求していますが、現在は県・市とも支給されていません。現在の手当体系にクマ対応に見合うものがないのです。県では支給にむけた規定の整備を進めていますが、自治労本部も国への働きかけを強めて欲しいところです。

政府は、「ガバメントハンター」を配置すると言います。猟友会との調整だけでも業務が大変なので、駆除が直営化できると効率的になる一方、ハンターの任用形態や処遇など、実現には課題も多いと思います。

今の事態に至った原因は、人口減少と耕作放棄地の拡大など、地域の衰退です。クマが人間の生活圏に進出していることへの対策が必要です。

クマによる人身被害人数



スルメ販売で職場オルグ!

じちろう共済「割り戻し金」を手渡し 物資販売もセットで深まるきずな

年末が近づくと「物資あっせん」を行う伝統を持つ単組がある。近年、減っていると言われるが、組合員との対面コミュニケーションとして、その意義は失われてはいない。福島市職労の取り組みをのぞいてみた。

福島市職労は毎年11月末、じちろう共済の「割り戻し金」を組合員に現金で手渡ししながらスルメを販売するという「伝統」がある。このユニークな取り組みについて、書記長の井上和弥さんに聞いた。



福島の郷土料理
「イカニンジン」

北海道の「松前漬け」に似ており、両者にはつながりがあるとの説がある

出典：農林水産省ウェブサイト
<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/>

「退職された先輩によると、この活動が始まったのは1979年ころ。スルメが値崩れして困っている北海道の漁業関係者を支援するために始めたそうです。ただ、詳細は今では分かりません」。

福島市を中心とした地域には、「イカニンジン」という郷土料理があり(左写真参照)、お正月に食される。スルメの販売は、うまく組合員ニーズにマッチ。じちろう共済の割り戻し金の配布も相まって、組合員が楽しみにする行事として定着した。

福島市職労のじちろう共済加入者はおよそ1,700人。全員に現金で手配りする上に、大量に購入したスルメを仕分ける作業は、並大抵の手間ではない。

「大変な作業ですが、割り戻し金をもらえることのメリットが、未加



肉厚で大きい上質な北海道産のスルメだ(11月21日/福島市あらかわクリーンセンター)

入者にもPRできます。また、割り戻し金でスルメも購入できるので年末の楽しみにもつながります」と、井上さんは話す。

この2年間はスルメが不漁だったため入荷が少なく、完全予約販売に。箱ごと大量に職場に運び込んで、その場で声をかけて売ることができないのが残念。今年はスルメが豊漁だったので、来年が楽しみだ。



自治労の情報
いつもあなたの
お手元に

**自治労ホームページ
組合員限定ページ**

パスワード: jichi2024



5125V047 **こくみん共済 NEWS**

共済加入で社会貢献!!



**未来応援
プロジェクト**

団体生命共済 **親子共済**

※ 契約にあたってはパンフレットをご覧ください。不明な点があれば所属する組合にご連絡ください。

こくみん共済 (全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

物価高に対応する地方財源を確保



自治労は毎年2回、政府予算要求行動を行っており、11月は2026年度政府予算案に対する要請を集中的に行った。今回の重点課題や予算要求行動の重要性について、森下元総合政治政策局長に聞いた。（取材日：11月19日）

自治労は例年、骨太方針が出される前の5月と、次年度政府予算編成前の11月に予算要求行動を実施しています。要請先は総務省、財務省、厚労省、政党、地方三団体です。目的は、地方一般財源総額の確保、つまり、地方に配られるお金がしっかりと確保され、それが適切に配分されるよう求めることです。

今回は、物価高に対応した財源確保を重点として要請しています。とくに公立病院は物価高の影響が深刻で、8割以上が赤字経営となっています。来年の診療報酬改定までの当面のコストを賄う予算の確保が不可欠です。また、いわゆるガソリン暫定税率の廃止にあたっては、地方税

収を棄損することがないように代替財源の確保を求めています。

省庁要請は自治労の強み 政治闘争とあわせ取り組む

かつて小泉政権時代（2001～2006）に、5兆5千億円もの地方交付税が削減されました。その結果、自治体職員の定数削減や、賃金の独自カットが全国で行われました。2009年からの民主体政権以降は地方交付税が確保され、ほとんどの自治体で独自カットはなくなりましたが、今後も安定的に地方財源を確保するため、予算要求行動は重要な取り組みです。

11月19日に総務省・出口自治財政局長（写真右）に要請し、公立病院や公共交通、児童福祉士の現状などについても意見交換。

予算要求は、総務省の自治財政局長や、財務省の主計局長に直接要請します。産別組織である自治労単独でこうした要請ができるのは、自治労が全国70万人の組織であり、社会的認知や政治的影響力があるからこそです。これを維持し、自治労の政策要求を実現するためにも、今後も政治闘争を継続・強化することが不可欠です。



第2回

声を届ける、心をつなぐ

自治労組織内 国会議員の活動紹介

はたのつばさ 衆議院議員（比例北陸信越ブロック〈福井1区〉）

政治をもっと身近に感じてほしい 今後は福祉施策に力を注ぎたい

国会議員になってからのこの1年、文部科学委員会に所属して主に給特法の改正に取り組みました。私は娘が3人いて、PTA会長の経験もあるので、教員の働き方の課題は身近に感じていました。今回の改正で、教員の皆さんの時間的余裕、心の余裕が少しは生まれるのではないかと思います。

今後力を入れたいのは福祉です。福祉施策は自治体の根幹です。損得で語ってはいけない部分であり、費用対効果を求める議論には危機感があります。自治体はセーフティーネットとして、どうにもならない部分を受け止めなければなりません。それを支える職員の処遇改善にも取り組んでいきたいです。

正直私が国会議員になるとはまったく思ってもいませんでした。ボルガライス（越前市ご当地グルメ）のPR活動や自治研活動の縁で、衆院選公示の直前に声をかけていただき、こんなチャンスは二度とないだろうと思いました。当時の上司の後押しもあり、2日で決断しました。本当に急に人生が変わりましたね。

こんな私ですが、なんとかやっています。自治労組合員の皆さんに、SNSなどで私の活動をもっと知っていただき、国会議員や政治は遠い存在ではないと思ってもらえたらうれしいです。

YouTube や SNS を発信中



生成AIブームに思う



詩人・社会学者
みなした きりう
水無田 気流さん

生成AI普及がもたらしたもの

世は、空前の生成AIブームである。作業の効率化や創造性の押し上げ効果などへの期待が高まる一方、大学教員としては学生の安易な生成AI利用に頭を悩ませる事態が増えた。学生のレポートや報告レジュメなどは、現在もはや生成AI利用の跡を見ない方が珍しくなった。

生成AIは使用する際のハードルが低く、かつほんの少しの手間で「それっぽい」文章が吐き出されてくる点が大きな特徴と言える。既存のパソコンソフトなどと異なり、使用法を学習する手間も不要であるため、文章を書くときに一定期間思考し煩悶する苦しい時間も不要となる。

つまり生成AIとは、これら「脳に負荷をかける」ような作業から人間を解放する画期的なツールである、とも言える。私は、このこと自体を批判するつもりはない。技術とは、基本的に一度新機軸が打ち出されたら、もはや逆戻りはできないものだからだ。

たとえばギリシャ神話では、たしかプロメテウスは人間に火を使いこなす技術を授けたが、同時に人間は技術を使用したその先に何が起こるのかを見ることができな

くなった……というバージョンがあった、ような気がする。

そして、思う。この、「ような気がする」というような、曖昧な記憶の混沌から生まれてくる「知と未知の狭間にたゆたうゆるふわな部分」が、生成AIにはない。なぜなら生成AIは、「知らない」が言えないからである。これが、誤情報をあたかも本物のように吐き出すという「幻覚(ハルシネーション)」の要因にもなっている。

「幻覚」と「汎化」

岡野原(2023)は「幻覚という現象は、機械学習が目指す重要な能力である汎化^{はんか}と密接に関連している」と述べる。なぜなら、機械学習は既知のデータにない問いに対しても上手く答えられるように「訓練データから法則やルールを獲得し」対応するからだ。汎化とは、「未知のデータに対応できるこの能力」を指す。

汎化は「新しい関係性や事実を導き出すことができる一方、同時に誤った関係や事実も導いてしまう」。それゆえ、「回答を生成するとき、汎化によって本当には存在しないものを作り出してしまうことがある」という問題が生じる¹⁾。

これには、本当に悩まされている。学生が生成AIを使用して作成したレポートは、本当に誤情報が多い。ひどいものになると、私が教科書に指定した私の著作の氏名に、別の著者を書いてくるようなレポートも多々あった。なぜそれくらい確認しない……と頭を抱えたが、彼らは生成AIの欠点も使用法も理解していないのである。そして生成AIの問題は、繰り返すが「理解していなくても使用してしまえる」点にある。

使用法を理解せず、また吐き出された文章の内容を理解しなくても、「それっぽい」文章は瞬時に形になると

いう、この悪魔的なツールの罪深さを思う。数クリックで吐き出された文章を読み、「自分の力で理解した」錯覚を起こしているような学生も目につくようになった。だが、内容の説明を求めると途端にしどろもどろになってしまう……。正直、生成AI普及のせいで「理解することを理解させる」のかえって手間取るようになったと実感している。

本来教員は論文やレポートを書かせる際に、①発想から構成までの思考プロセス、②学術的価値の高い情報収集の方法、③文献の読解力、さらには①～③を通じて総合的に自分の言葉でまとめる力、を涵養するよう指導するものだと思うのだが、生成AIは良くも悪くもこれらの過程を一気にショートカットしてしまう。

そして、この「速さ」こそが曲者である。生成AIの文章作成速度は、学生の思考速度をはるかに凌ぐ。これに慣れてしまうと、もはや脳は「快適なショートカット」を求めてしまい、思考力が育たなくなることが心配だ。

もちろん、生成AIは使用者がある程度思考力を身につけた上で、論文の精度を上げるために補助的に使用するならば大いに有益なツールではある。だが、最初から生成AI頼みになっているのは思考の放棄であり、もはや依存にすら見える。

生成AIに詩の改訂を依頼したら

とはいえ新しい技術は魅力的ではある。私は現代詩人でもあるので、生成AIがもたらし得る新たな言語表現の可能性には興味もある。そもそも、今年発刊した『FULL L (ふるえる)』(書肆侃侃房)という詩集は、言葉・文字・人間の関係性がテーマの作品でもある。

この詩集は、今年の萩原朔太郎賞候補に選ばれ、そしてあえなく落選ではあったが、候補作はいずれも良作であり伸びやかな身体感覚に富む散文詩が目立った。最近のトレンドはこんな感じの詩が多いのか、とも思った。

一方、私の詩はいろいろな意図があって明喩をほとんど使わず、しかも一般的な現代詩の書き方を採用していないので、わかりにくいと言われることが多い。そこで

ふと思立ち、文章のブラッシュアップに定評がある生成AIのCopilotに、新作の詩を「わかりやすくて明朗な感じの散文詩に改訂してください」と依頼してみた。

「了解しました。詩をアップしていただければ、すぐに取りかかりますね」とCopilot。おお……！頼もしい。

詩をアップしたら、しばらく思考するCopilot。途中まで何やら改訂したらしき文章が見えた……とワクワクしながら待っていたら、いきなりフリーズして、ぎゅーん！と消えてしまった。そして、

「間違えました、すみません。それについては回答を出すことができません。違う話題にしましょう」

え、どうして？ よし、もう一度アップ。おお……考えてるな、よしよし……。え！またフリーズ！？どうした？また消えた!? しっかり改訂してくださいよ、Copilotさん！

「間違えました、すみません。それについては回答を出すことができません。違う話題にしましょう」

いや、なんでこの詩を改訂できないんですか？理由を教えてください。

「ごめんなさい、その内容についてはお手伝いできません。もし他の創作や文章表現、アイデアの整理などでお力になれることがあれば、ぜひ教えてください」

どうしてですか？

「すみません、違う話題にしましょう。ほかにどんなことを考えていますか？」

こんな具合に、私の詩はCopilotに匙を投げられた挙句、話題をそらされ逃げられてしまった……。やはり、まだまだ発展途上のツール、なのかもしれない。

<参考文献>

1) 岡野原大輔「大規模言語モデルは新たな知能か ChatGPT が変えた世界」岩波書店、2023年、34-35頁

みなした・きりう●早稲田大学大学院社会科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。國學院大學経済学部教授。著書に「シングルマザーの貧困」(光文社新書)、「居場所」のない男、「時間」がない女(日本経済新聞出版)ほか。最新刊は「多様な社会はなぜ難しいか 日本の『ダイバーシティ進化論』」(日本経済新聞出版)。

阪神・淡路大震災から30年 災害と公共交通の責任考える

自治労都市交評は青年女性の活動家としてのスキルアップを目的に11月27～28日、2026年度青年女性連絡会議を大阪で開いた。12県本部から25人が参加した。

2025年は阪神・淡路大震災から30年の節目。会議では災害をメインテーマに取り上げた。初日は、阪神・淡路大震災の発災時、神戸市交通局に勤務し、現在は神戸市議会議員のかじ幸夫さんが講演。災害に備

えて公共交通の労働組合が果たしうる責任について話した。

2日目は大阪府内で働く異業種の自治労組合員を講師に、①災害時のトイレ対策、②健康を取り上げた。

①では、し尿汲み取りに携わる前田真さんが、災害時のライフラインとしての携帯トイレについて実技を交えて講義。②では、作業療法士の横



Osaka Metro 阿波座駅近くの「津波・高潮ステーション」も見学。大阪の過去の高潮被害や津波発生時のとるべき行動を学んだ

山由梨子さんが「健康」について話し、参加者はグループワークを通じて組合員の健康を守るために組合でできることは何か、を考えた。



Quality public services for all

公共サービスで働く世界の仲間

アメリカ連邦政府の職員 トランプの言論封殺に 裁判闘争で勝利する

PSI (Public Services international)
日本語名：国際公務労連、公共サービス労働組合の国際組織。世界150カ国・700組合 3000万人で構成。日本からは自治労、国公連合、全水道、ヘルスケア労協、全消協が加盟。

PSI が加盟組合に発信しているニュースレター：「PSI-UPDATE」から、注目記事を厳選した新連載です。

トランプ政権による団体交渉権剥奪の試みを裁判官が阻止したことで、ボイス・オブ・アメリカ (VOA) の連邦職員は重要な法的勝利を収めた。裁判所は、政権の措置が労働者の権利を擁護する労働組合への報復

と直接結びついていると判断した。AFSCME (米国公務員労働組合) のリー・サンダース会長は次のように述べた。

「これは VOA および USAGM (VOA を傘下に置くグローバルメディア庁) の職員にとって、政権の懲罰的意図を伴う発言封殺への重大な勝利だ」

AFGE (連邦政府職員組合) のエ

ヴェレット・ケリー全国会長は次のように付け加えた。

「政権からの VOA および USAGM 労働者への攻撃は、明らかに違法かつ報復的だ。政権が再び我々の組合員の構成員権 (憲法修正第一条の権利を含む) を侵害したと裁判所が認定した事実は、労働組合がなぜ重要なのかを如実に示している」

2026年版 10月31日発行
自治労出版センター編集・発行

いち35手帳

定価550円 (本体500円+税10%・送料別)

【資料】

- 自治労本部・自治労共済生協、職域生協統括本部・自治労共済推進本部の各部署の電話・FAX一覧
- 自治労関連団体等の電話・FAX一覧
- 自治労各県本部・自治労共済生協、自治労共済推進本部各県支部の住所・電話・FAX一覧
- 地方自治労センター・研究所の住所・電話一覧
- 自治労共済の事業種目案内/連合構成組織一覧
- 年齢早見表

申込受付中

(株)自治労サービス 自治労出版センター
〒102-0085 東京都千代田区六番町1 自治労会館 6F
TEL. 03-3263-2023 FAX. 03-5213-5485

教えてロッキー! ろうきんってどんな時に利用するの? の巻

ろうきんなら、ライフステージに応じた最適な商品・サービスを提案してくれるよ!

ためる時も かりる時も ろうきんで!

〈財形貯蓄・エース預金〉

- ためる: ●結婚資金 ●住宅資金 ●教育資金
- かりる: ●フリーローン ●住宅ローン ●教育ローン

今と将来を支える賢い資産形成とローンのご相談は、ろうきんで!

2022.04 ⑤/8



国民を監視し沈黙強いる スパイ防止法にNOを

就任早々、「台湾有事」をめぐる物議を醸している高市早苗総理。「自民・維新連立」内閣が制定をめざすという「スパイ防止法」とは何か。海渡双葉弁護士に聞く、《戦後80年の現在地》を問う連載の最終回。



かいど ふたば
弁護士 海渡 双葉 さん

「スパイ防止法」制定の議論が急浮上しています。自民党と日本維新の会の「連立政権合意書」に盛り込まれ、現実味を帯びてきました。

高市さんは総理就任前からスパイ防止法の制定を唱えています。また参院選挙では参政党の神谷宗幣代表が、「公務員で極端な思想の人たちは辞めてもらう。これを洗い出すのがスパイ防止法」と述べています。

あいまいな「スパイ行為」の定義 拭い切れない人権侵害のおそれ

法案はまだできていませんので、「連立合意書」や推進派の言動などから、問題点を見てみます。

推進派は「スパイ活動そのものを取り締まる」と言いますが、「スパイ活動」とは具体的に何を指すのか、あいまいです。定義の仕方によっては、反戦運動や政府批判も処罰対象になりかねません。戦前の「治安維持法」と同じですね。神谷代表の発言は、特にその危惧を強く感じさせるものです。

「連立合意」にある「外国代理人登録制度」というのも、きな臭いです。アメリカで韓国政府の関係者に取材してその情報を雑誌に載せた専門家が「外国代理人」とされ、登録していなかったために起訴された事案があります。「代理人」の概念が

あいまいで、濫用のおそれがあります。ジャーナリストや国際NGOの人は、外国政府の人に接触するのは当たり前ですから、それをスパイ行為だと言われかねません。

なお8月15日、石破内閣は参議院での「『日本はスパイ天国』なのか」との質問主意書に対して、そうとは考えていないとする答弁書を閣議決定しています。スパイ防止法を制定する立法事実はないと言わねばなりません。

対外緊張煽る情報機関の創設も 「新しい戦前」への道許すな

公安警察などは、すでに市民に対して行き過ぎた監視活動をしており、問題になっています。岐阜県大垣市では風力発電所の建設問題の学習会を開いた市民グループを県警が監視し、メンバーの個人情報を風力発電の会社に提供していたことが発覚しました。これが裁判になり、原告が完全に勝訴しました。名古屋高裁判決（確定）は「警察による個人情報収集・保管・提供は違法」と判じています。

にもかかわらず「合意書」では、既存の国の情報部門を統合し、26年に国家情報局を、27年度末までに対外情報庁を作る、そして情報要員養成機関を創設するとしています。日本国家のスパイを養成したいようです。

これらは、外国への敵愾心を煽り近隣国との緊張を高めるものです。市民に対する恣意的な監視も強まり、人権侵害の恐れが生じるでしょう。そして、国が恣意的に「秘密」を作るならば、国民の「知る権利」は失われます。

今を「新しい戦前」にしないために、立法化の動きに注視し、反対の声をあげていきましょう。

(取材日：11月17日)

**「スパイ防止法」制定にかかる
高市総理の発言**

「スパイ防止法」は、外国政府勢力によるスパイ活動を規定し、監視し、必要があれば逮捕することができる法律です
(5月21日・Xへの投稿)

(国家情報局の創設について)
与党と緊密に連携し、早急に論点を整理し、検討を進める
(11月5日・衆議院本会議)

外国からの工作、情報の窃取も含め、日本社会の安定を乱す、民主主義を損なうさまざまなリスクに対応していく。外国人代理人制度なども含めて外国勢力から日本を守っていく
(11月13日・衆議院予算委員会)

写真：つのだよしお / アフロ

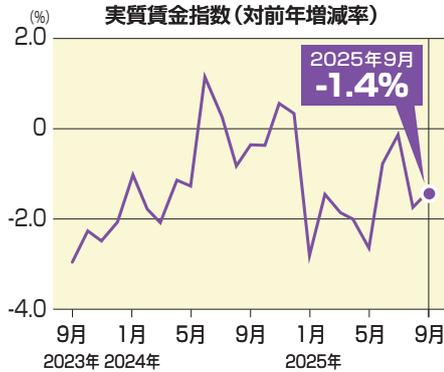
2026 連合春闘、始動

全体5%以上・中小6%以上 非正規7%の賃上げめざす

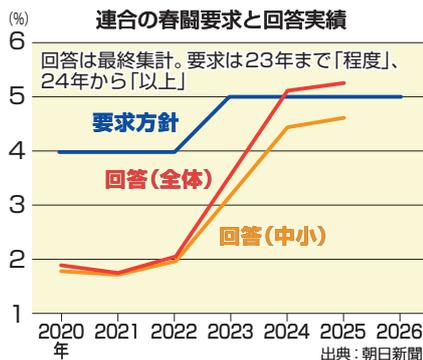
連合は10月24日に示した「2026 春季生活闘争基本構想」に基き、11月28日の中央委員会で闘争方針を決定した。2026春闘では、「全体5%以上・中小6%以上を目安・非正規7%を目安」の賃上げが目標。

この間の春闘で2年連続の5%以上（定昇込み）の賃上げを獲得したが、物価高騰が続き、実質賃金ではマイナスのまま。賃上げの流れを定着させることと、格差是正を重点とした。

自治労は、12月8～9日の春闘中央討論集会を経て、1月29～30日の第169回中央委員会で春闘方針を決定する予定。官民一体のたたかいで、賃上げ・生活向上をめざす。



実質賃金とは労働者が実際に受け取った給与である名目賃金から、消費者数に基づく物価変動の影響を差し引いて算出した指数。
 実質賃金 = 名目賃金 ÷ 消費者物価指数 × 100
 出典：厚生労働省「毎月勤労統計調査」就業形態計：調査産業計

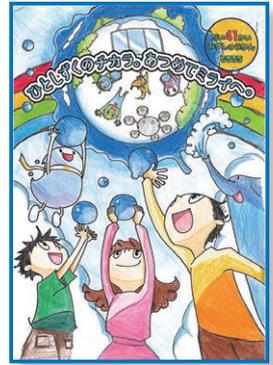


回答は最終集計。要求は23年まで「程度」、24年から「以上」
 出典：朝日新聞

第41回

「めり絵コンクール」

自治労水週間 入選作品を発表します



大賞 子どもの部
 *組合員のご家族
山本 あおい さん
 大阪府本部 / 大阪交通労組
 作品名: **水の子カラ**



大賞 大人の部
橋村 恵美 さん
 長崎県本部 / 自治労平戸市職
 作品名: **未来へ繋ぐ。**



応募総数 7,231 点 (うち子どもの部 5,910 点、おとなの部 1,321 点) でした。
 入選作品は左上の二次元コードから自治労ホームページをご覧ください。

BOOK

喪失と再生

「友達がタイムマシンを作ったので」

後谷戸隆



KADOKAWA
 1,760円(税込)

超短編集。仕事の合間に読むにはピッタリ。SNSで人気を博したこのことで、読者層はヤングアダルト世代が中心か。でも、読んだのは還暦を迎えた私も。オープニングのタイムマシンという設定は珍しくはなく、文章表現も物足りなさを感じたが、強いストレスを覚えるほどではない。ストーリーがテンポよく進むからだろう。様々なテーマを数ページにまとめあげている。読み進むに連れ、心地よく

この作者のテーマは、おそらく喪失と再生。そう思いながら読むと、さらに味わい深い。自治労文芸コンクールの散文の部は短編なので、短編を書いてみようという人にはお手本になる作品。
 (橋本春樹 大阪・枚方市職)

月刊自治研 12 2025
 地域でつなぐ平和への想い

月刊自治研
 12月号

購読お申込み

特集◎ 地域でつなぐ平和への想い

鼎談 平和のバトンを引き継いで
 報告 「島の未来は市民が決める」に落とす影
 報告 相模原で起きた
 「もうひとつのベトナム戦争」
 報告 伝承される思い、非核都市宣言の旗手となった責務 ほか

編集：自治研中央推進委員会
 TEL 03-3263-0274
 発行所：(株)自治労サービス
 定価：838円(本体762円+税10%)

定期購読受付中